
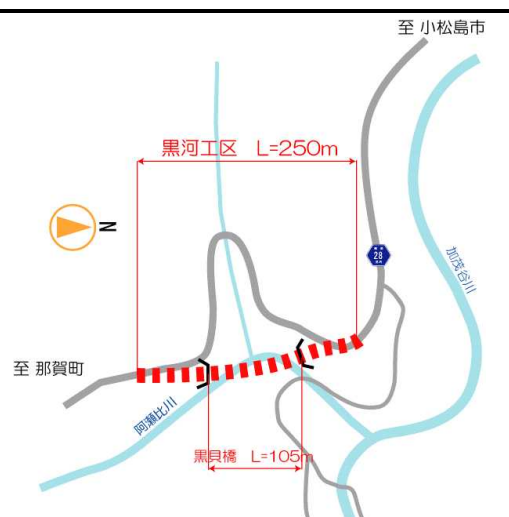


## 事後評価結果(平成28年度)

担当課：道路整備課  
担当課長名：正木 昇

事業名	主要地方道 阿南小松島線 黒河工区	事業区分	主要地方道	事業主体	徳島県					
起終点	自：阿南市加茂町黒河 至：阿南市加茂町黒河	延長	0.25km							
<b>事業概要</b> <p>阿南小松島線は、阿南市阿瀬比町の国道195号を起点とし、小松島市赤石町で徳島小松島線に接続する延長約25.2kmの主要地方道であり、市街地から中山間地域にまたがる広域的な道路である。          国道195号から阿南小松島線を経由するルートは、那賀町から徳島市への最短ルートとなっており、物流、通勤等(わじき工業団地等)の重要路線として位置付けられている。          また、那賀町から現在事業進行中である四国横断自動車道【阿南IC(仮称)】へのアクセスをスムーズにし、物流の効率化が期待される。          しかし、阿南市加茂町以南においては、1車線の狭小で湾曲した道路が連続し、交通の難所となっているため、2車線のバイパス方式により整備したものである。</p>										
<b>事業の目的・必要性</b> <p>当区間の現道は、一級河川那賀川水系阿瀬比川へ流入する谷状地形により大きく湾曲した道路線形となっている。また、幅員も3～4mと狭小で、諸車両の通行の支障となっている。これらを解消することにより、通勤などの生活道路として安全・安心な通行の確保や災害時の確実な住民避難とともに、「木頭すぎ」、「木頭ゆず」をはじめとする那賀町の特産品の物流ルートのアクセス向上などを図った。</p>										
<b>事業概要図</b> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>										
<b>事業を巡る社会経済情勢等の変化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年3月：鷲敷町、相生町、上那賀町、木沢村、木頭村が合併し那賀町が誕生。</li> <li>・平成18年3月：羽ノ浦町および那賀川町が阿南市へ編入。</li> <li>・平成23年3月：阿南市・美波町・那賀町の3市町による「定住自立圏構想」の締結。</li> </ul>										
<b>事業効果</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①すれ違い困難箇所を解消することによる走行性の改善(1車線→2車線)。</li> <li>②落石危険箇所(1箇所)を回避することによる安全性の改善。</li> <li>③物流の効率化 那賀町から四国横断自動車道【阿南IC(仮称)】へのアクセス向上。</li> <li>④ 〃 那賀町から徳島市への最短ルートのアクセス強化。</li> </ol>										
事業期間	事業化年度	H22年度	用地着手	H23年度	工事着手	H23年度	前回比	—		
	供用年	—		(今回) H27						
事業費	前回評価時	— 億円		実績	4.5億円		前回比	—		
交通量		(前回評価時)	— 台/日		(今回)	822台/日		前回比	—	
費用対効果分析結果	B/C	総費用		5.0億円		総便益		5.4億円	基準年	平成28年
	1.1					<small>                 走行時間短縮便益：5.1億円                  走行経費減少便益：0.3億円                  交通事故減少便益：0.0億円             </small>				
課題と今後の事業への反映	当工区では、事前に市と連携して地元との調整を行ったことから、用地買収、工事施工など、円滑に進捗した。今後も関係機関及び地元住民と一体となった事業展開を図り、円滑な事業進捗に努める。									

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。